

学生および教職員のインフルエンザ患者数の増加と注意喚起

保健管理センター 住田安弘

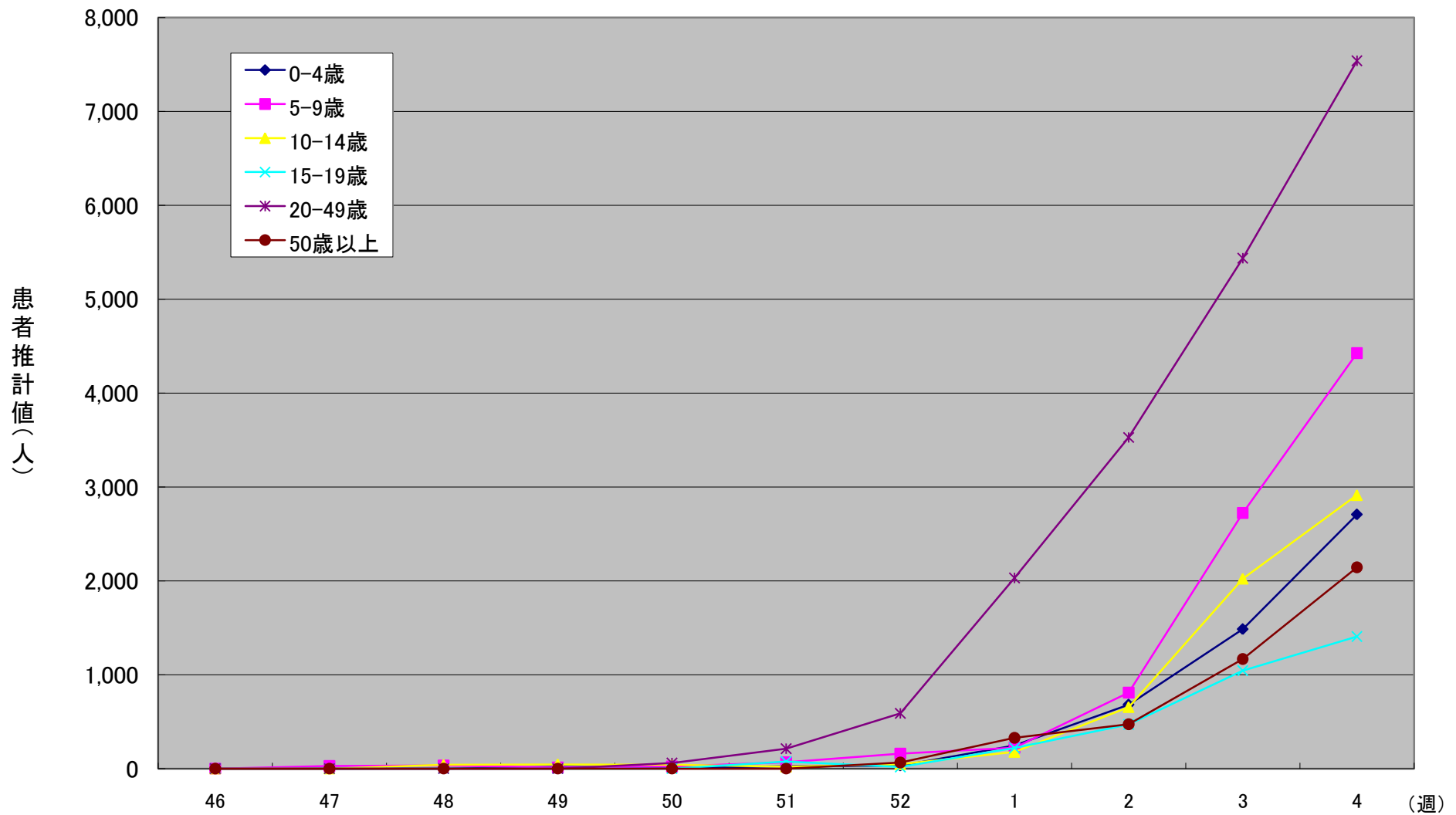
本年1月になり、インフルエンザの感染者数が急激に全国に拡大してきました。三重県でも、1月10日の週に北部（桑名市管内）で感染者が増加していましたが、17日以降、四日市、津をはじめ、松阪、伊勢管内でも感染者数が増加してきました。現在、桑名、四日市管内には「警報*」が、その他の地域には「注意報*」が発令されています。現在の津保健所管内の定点患者届出数は**26.27**であり、まもなく警報が発令されそうな状況です。今シーズンの特徴は、昨シーズンと異なり、**20～49歳**までの人に感染者が最も多いことです。学内でも1月15日以降、教職員に感染者が増加しています（2/4 現在職員**25**名、学生**33**名）。また特定の部署に固まって発生している傾向も認められます。今一度、以下の項目を遵守して頂き、インフルエンザ感染を蔓延させないように、学生諸君ならびに教職員一同のご協力をお願い申し上げます。

1. 家族にインフルエンザ感染者が出た場合、感染拡大に対し厳重に注意する。
2. インフルエンザ様症状のある時は、無理をして出勤しない。
3. インフルエンザと診断された場合は、自宅で休養する。
4. 解熱しても2日間は出勤しない。
5. 体調不良時にはマスクを着ける。
6. 手洗いやうがいを励行する。
7. 咳エチケットを守る。
8. 部屋の換気に努める。

【注】

警報*、注意報*：定点医療機関（県内**72**施設）における1週間のインフルエンザ患者届出数の平均が**10**を越えた場合に注意報が、**30**を越えたら警報が発令される。

三重県インフルエンザ患者年齢階級別推計値の推移(2010/11シーズン)



*: 国立感染症研究所感染症情報センターが算定した全国インフル定点患者届出数と全国インフル患者推計値(暫定)から週別、年齢階級別に係数を求め、三重県インフル定点届出数に各係数を乗じて求めた推計値である。